

平成23年11月4日

青木村立青木小学校
保護者様

青木村立青木小学校長 中澤 康匡

青木小学校の放射線量の現状について

晩秋の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しご支援、ご協力をいただき有り難うございます。

さて、先般、佐久地域の小学校の雨どい出口などで毎時1マイクロシーベルトを超える放射線量が検出されたことは、新聞やテレビニュース等でご承知の方もいらっしゃるかと存じます。長野県はこれを受け、県内における空間放射線量をより詳細に把握するため、県内全市町村の市役所・町村役場及び小中学校において、雨どい、側溝、草地など、放射線量が高いおそれのある箇所も含めた再測定を11月1日より実施しております。本校でも11月1日に測定を行い、その結果が2日に公表されました。

そこで、公表された測定結果をもとに青木小学校校庭及び周辺の空間放射線量の現状を下記のとおりお知らせいたします。なお、今回の測定結果についての長野県からの通知を裏面に掲載いたしますので、参考にしてください。

記

1 青木小学校校庭の測定場所及び測定結果

| 測定地点 | 1m(μSv/h) | 50cm(μSv/h) | 地表(μSv/h) |
|------------|-----------|-------------|-----------|
| ①校庭中央 | 0.07 | 0.07 | 0.07 |
| ②教室前雨水集水ます | 0.08 | | 0.08 |
| ③体育館横雨水側溝 | 0.06 | | 0.06 |
| ④校庭花壇 | 0.06 | | 0.07 |



○除染対策の目安

【県の基準】地表の空間放射線量が1μSv/h(毎時1マイクロシーベルト)以上

【国の基準】地表から1mの空間放射線量が1μSv/h(毎時1マイクロシーベルト)以上

2 結果

青木小学校の最高値と除染対策の目安(県基準)を比較してみると、大きく下回っています。また、校庭中央での空間放射線量は、6月の最高値(0.07μSv/h)と比較してもほとんど変化がありません。従って、現時点では、ほとんど影響がないと思われます。

今後も、子どもたちの安全な学習環境を維持するために、情報収集及び情報提供に努めて参りたいと思いますので、ご理解ご協力の程、よろしく願い申し上げます。

なお、詳しい資料は、青木小学校のホームページから参照できます。ご質問やご意見等ございましたら、担当までご連絡ください。

○青木小ホームページ(放射能関連資料ページ)

<http://www.aoki-aoki-ele.ed.jp/housyasen.htm>

| |
|--|
| 青木村立青木小学校 担当 島田 浩幸(教頭) TEL 49-2009 |
|--|